

技術士
による

東日本
大震災
復興支援

こども 理科実験 教室 2016

REPORT

ほうこくしょ

THE SCIENCE
EXPERIMENT SCHOOL
FOR CHILDREN



主催：京都技術士会理科支援チーム
後援：郡山市教育委員会
助成：全日本社会貢献団体機構

ご挨拶

私たち京都技術士会理科支援チームは、今年も、東北(福島県)でこども理科実験教室を開催しました。

私たちは、子どもの理科教育が科学技術立国を目指す我が国の根幹をなすものであり、この推進は教育現場、家庭のみならず、社会全体が応分に責任を負うべき課題と考えて活動しています。

一方、東日本大震災の被災地である東北地方は、被災6年目を迎えてなお復興途上にあります。

私たちは、理科実験を通じて、東北の子どもたちに理科の楽しさを実感させ、子どもたちの好奇心と探究心を喚起することが復興への一助となるとともに、東北、ひいては日本の将来を支える理科好きの子どもたちの育成につながると考え、震災の翌年(2012年)から、毎年、この教室を開催しています。

第1回は宮城県(七が浜、仙台市)で行いましたが、第2回以降は、福島県で開催しています。昨年の第4回はいわき市で行い、延べ254名の子どもたちが参加してくれました。今年は第5回目の教室になりますが、郡山市教育委員会の後援と全日本社会貢献団体機構の助成および地元有志の絶大なご協力を得て、延べ212名の子どもたちが参加し、今回も、子どもたちの笑顔と歓声が忘れられない開催になりました。

関係各位のご協力に謝意を表しますとともに、以下に、教室の概要を報告します。

平成28年10月

京都技術士会理科支援チーム



